

# PCの魅力

あなたも自分専用のPC、  
持ってみませんか？

需要増加中の  
PCについて迫る！

# 本書についての説明、案内

この度は、小冊子「PCの魅力」を読んでいただき、誠にありがとうございます。当冊子はPCについて学ぶだけでなく、自分専用のPCを持つという魅力を感じてほしいと思い制作しました。PCを買う予定がある方、ない方も是非当冊子を読んでみてください。

# PCのことが きつと好きに なる。

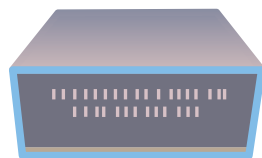
パソコン、  
使ってますか？

PCでそもそも  
なんなんだ？

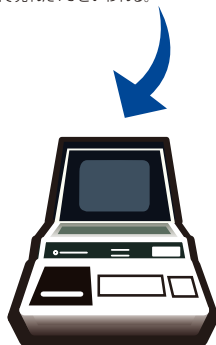
この小冊子を読んでいる方々は、パソコンを使ったことはあるだろうか。職場で業務をするために使っていたり、学校では授業の環境としてパソコンに触れたことがあるだろうか。そして今、自分が使っているパソコンのことを、どれくらい理解しているだろうか。考えたことはあるだろうか。当冊子はそんな疑問を解決するべく、前半はパソコンの歴史から中身のパーツについて、後半はパソコン購入のおすすすめについて解説していこうと思おう。そして、PCを持っていない人にも、自分用のPCを持つ楽しさを体感してほしい。

パソコンとは、「パーソナルコンピュータ」の略であり、個人用のコンピュータ全般を指す言葉のこと。さらに省略すると本誌の表紙にもある「PC」という読みになる。(以降パソコンをPCと略す。)デスクトップ、ノートブック、タブレットなど、最近のPCは非常に種類が多い。何より、PCと叫ばれるようになったのはかなり最近のことだ。昔のコンピュータはとにかく大きい。付属で外部機器をたくさんつける必要があり、とても一般家庭では使えないものではなかった。技術の進歩により、コンピュータがより小さく、扱

# PCの歴史



↑「Altair 8800」一般の人向けに作られた最初のパーソナルコンピュータ、つまりPCの元祖になったもの。世界初の安価で売れたPCといわれる。



↑「Commodore PET 2001」家庭用のPCとして初めて販売された物。操作性はかなり悪かったそうだ。



↑一般的なノートパソコン。持ち運びに便利な軽量型や、動画編集もできるハイスペックなものもあったりと、進化を遂げている。

いやしくなることで、個人でもコンピュータを扱えるようになった。その小さくなったコンピュータのことを「PC」（パーソナルコンピュータ）と呼ぶようになった。昔は名称が定まっておらず、「マイクロコンピュータ」や、用途によっては「ホームコンピュータ」などと呼ばれていた。

1974年に、それまで専門の会社を持つようなものだったコンピュータが、小型で低価格で個人で使えるモノになった。しかし操作方法などは昔のままのため、専門的な知識がなければ扱うのは難しかったそうだ。

1977年ごろから、アップルなどの今でも有名な企業が、本体をプラスチックの箱に入れた、今のPCの元祖になるようなものを発売した。当時はモニターやキーボードなどが一体となっていて、一見すると今のノートパソコンのように聞こえるが、実物はその十倍くらい大きくなって

いる。日本では1970年代後半から、外国さんや日本産のPCキットが販売されるようになった。「キット」ということで、実際に組み立てて完成させる。性能は簡単なプログラムが出来る程度のものであった。そして時は現代に移り、2000年代にはノートPCが主流になり、無線LANなどもこの時発展した。2007年頃にはもつと安価に変えるようになった。

# 個性ある PCメーカー

## PCメーカー

### とは？

PCメーカーというのをご存じだろうか。PCを作る機械のことを指すのではない。PCやパーツを生産、販売する企業のことである。企業には様々な種類があり、企業によって特徴も違う。メーカーを理解することで、自分に合ったPCを探すことができます。PCを開発、販売している企業は国内外問わずにとっても多くの企業がある。

そもそも、PCがどこで作られているかというところ、9割が海外でそのほとんどが中国で生産されている。海外でパーツが作られた後そのまま海外で、あるいは日本に持ってきて組

み立てをしている。

## PCメーカーごと

### に違う特徴

PCメーカーは国内外にたくさんあり、そこからさらにパソコン専門メーカー、海外家電メーカー、国内家電メーカーの分類に分かれる。パソコン専門メーカーは、パソコンの製造から販売を専門に扱い、高性能な物やコストパフォーマンスが高いものの中で、PCに関して幅広く取り扱っている。海外家電メーカーは、デザインがとにかく魅力的で、高品質ながらコストパフォーマンスが高い。国内家電メーカーは他と比べると値段は高めだが、安心してサポートを受けることが出来る。

海外で有名なメーカーでは「アップル」や、「ウィンドウズ」なども開発している。「マイクロソフト」などが有名だが、日本では東芝、パナソニックなどの企業が開発している。近年では個人向けやゲーム用のPCを販売しているパソコン専門の「マウス」や「ドスパラ」が話題になってきており、PCの盛り上がり盛んになってきている証拠だ。

次のページでは、PCメーカーをより詳しく紹介する。家電量販店で見たとのあるロゴがあるのではないだろうか。（ロゴは著作権対策のため本物ではありません）

## Dynabook



耐久性、セキュリティの高さ、液晶と音質が特徴的でありセールスポイント。東芝のもつメーカー。

## Microsoft



Windows や Office の販売、開発を手掛けるメーカー。2in1 と呼ばれるノートとタブレットを兼用するパソコンが最近の主力。ソフトウェアを入れやすい。

## Apple



「MAC」と呼ばれるPCが主力。ビジネス系よりもデザイン系に特化しており、デザイン系の職業の方々から非常に愛されている。他とはかなり違う特徴を持つ

## パナソニック



PCとして最高の品質を持つ。とにかく頑丈で請われにくい。その分価格は高い。ビジネス用のノートPCの身を開発、販売している。

## Dospara



受注生産 PC や PC を自作する人から高い支持を得ているメーカー。プロゲーマーとよくコラボしている。ゲーミング PC やカスタマイズできる PC がとても人気。

## マウス コンピューター

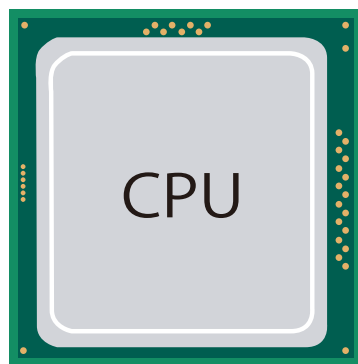


アイドルのCMが人気。一般の人向けのPCからゲーミングPCまで、幅広く扱っている。

# パーツはPCの 生命線

読者はPCを使っている中でブラウザの読み込みがストレスに感じたり、保存できる容量が足りないといわれたりした経験はないだろうか。それらの問題はPCのパーツにあるかもしれない。PCの価値というのはパーツで決まるといっても過言ではないだろう。PCは機械なので、もちろん内部には様々なパーツが組み込まれている。パーツごとの役割・性能を理解することで、よりPCが面白くなってくる。主要パーツの6つを紹介していく。もしかしたら読者も一度は聞いたことのあるものがあるかもしれない。

## PCの心臓 CPU



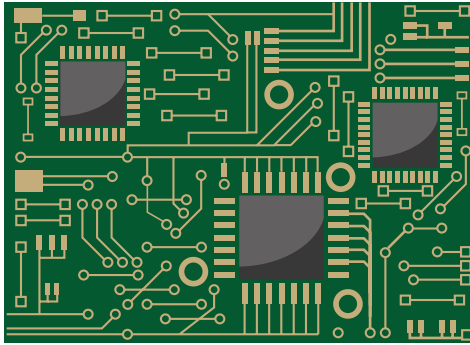
CPUはコンピュータを構成する代表的なパーツ。マウスやキーボードなどの周辺機器からデータを受け取り、制御・演算を行う。

基本的に、高価なほど高性能。「クロック」が高いほど計算が速く、「コア」の数が多いほど同時処理性能が高くなる。

見た目はかなり小さいが、パソコンの中で一番重要。これが無いとPCが動かない。有名なもので「インテル」、「AMD」などがある。

よくパソコンに貼ってある「CORE iO」と書かれているのは、このCPUの製品名を挿している。

# パーツを支える母 マザー ボード



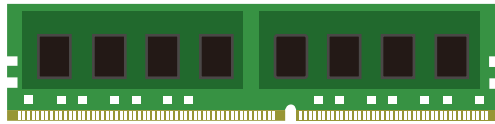
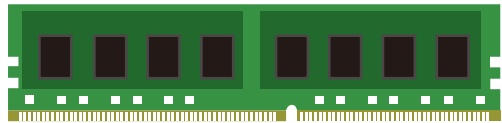
デスクトップパソコン、ノートパソコン問わずパソコンの中には大きな基盤が一枚入っている。CPU、メモリー、HDD、ビデオカードなど、各パーツをつなげる役割を担うパーツ、それがマザーボードだ。メインボード、システムボードともいう。

部品ごとに役割や機能は異なり、電源の供給や相互に通信する回路が必要になってくる。そのため、ひとつのコンピューターとして動作するために必要となってくるのが、マザーボードだ。

複雑な回線が張り巡らされており、PCパーツを取り付けるためのフタや差込口がある。

増やすと快適

## メモリー



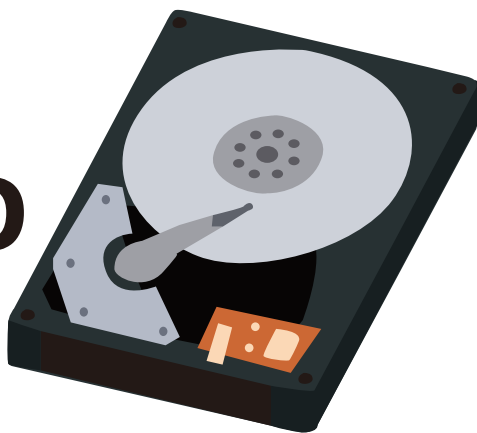
メモリーとは、データを記憶する部品のこと。データやプログラムを一時的に保存するための部品で、コンピューターでは主記憶を担当する。パソコンを使っているときや何かのプログラムを開くときに、作業台のように利用される。そのためメモリーの容量は、パソコンの動作速度に影響を及ぼす。容量が多ければ多いほどPCは快適に動くようになる。

ノートPCとデスクトップPCで大きさが違ったり、同じサイズのメモリーでも規格が違っていたり、形や性能にかなりの種類がある。そのため、PCをサクサク動かすためにメモリーを増やしたい場合には、使っているPCのメモリーを確認する必要がある。



記憶領域の兄

HDD



記憶領域の弟

SSD



HDD、SSDはデータを記憶する同じ役割を持ったパーツ。(正式名は長いので省略する。)しかし、同じ役割といえど特徴がかなり違う。

HDDは「ハードディスクドライブ」の略。中に円盤が入っていて、磁気によってデータの書き出し読み出しをする。

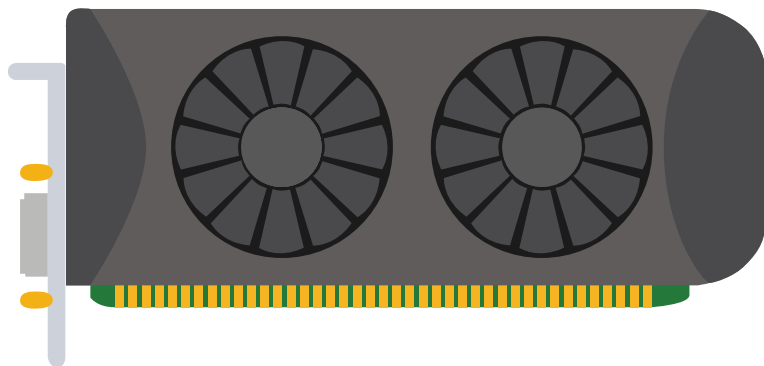
SSDと比べて保存できるデータ量が多く、何より安い。ただし衝撃に弱かったり、消費電力が大きい。

SSDは「ソリッドステートドライブ」の略。半導体を使ったメモリを使用している。HDDより値が張るが、小型で読み込み速度が速い。

最近の人気は読み込み速度が速いSSDが人気。

ゲームやるなら必須

# グラフィックボード



グラフィックボードとは、画面に画像や映像を映すためのパーツである。ただ、画面に映すだけなら、グラフィックボードを使わずとも映すことが出来る。

3Dゲームや大容量の映像データの処理、4画面以上のモニターを利用するために必要。要は、画像や映像をより綺麗に映すようにするために使われる。そのため、一般的なPCには搭載されていることが少なくゲーミングPCなどの映像が重要視されるPCに組み込まれている。グラフィックボードのほとんどは海外製造だったが、一度品切れになると海外から輸入する必要があるため、スペックが低くてもそれなりの値段がする。

## 個性あるPC パーツたち

以上でPCパーツの解説を終わる。具体的にPCのどの部分に使われているかは、ややこしくないのでこの冊子では説明しない。パーツを理解することで、自分のPCへの理解を深めたり、これからPCを購入する際により自分にあつたモノを選べるようになるだろう。

また、のちに説明するPC購入のすゝめでは、これらのパーツ選びが非常に重要になってくる。自分のためにもある程度覚えておいた方がいいだろう。

# PCを買うという 決断

## PC、 買わないか？

ここまではPCの解説だったが、ここからは筆者が一番伝えたい部分になる。当冊子の冒頭部分でも書かせてもらったが、今この冊子を読んでいるあなたは、自分のPCをもっているだろうか？筆者がこれからお勧めするのは、デスクトップPCだ。ノートPCではないのでご注意ください。

## 一世二代の買い物

デスクトップPCというのは、その名の通り机の上に備え付けて使用する用途で作られたPCのこと、というのは当冊子の冒頭でご存じのはず。ディスプレイ、パソコン本体、キーボードなどの各機器が独立しているため、ノートパソコンのように気軽に持ち運ぶことはできないが、パーツの交換や増設ができ、自作パソコンも可能であるなど、拡張性に優れている。デスクトップパソコンは、持ち運んで使用する前提では作られてはいないため、それぞれの機器が大きく、重いのが一般的。

しかし、小さな筐体の限られたスペースの中だけに機能が詰めこむことができないうノートパソコンとは違い、大きさを制限する必要も低いため、実にさまざまな機能が搭載されていることが大きな特徴である。また、組み込まれているパーツの追加やグレードアップ、増設などがしやすいことも特徴と言える。

また、組み込まれているパーツの追加やグレードアップ、増設などがしやすいことも特徴。例えば、ゲームをするためにグラフィックボードを組み込んだり、写真を保存するためにHDDをSSDに交換したりなど、ノートPCではこうはいかない。ノートPCのようにどこかに持ち込んで作業をすることはできないが、それを覆すスペックがデスクトップPCにはある。当冊子を読んで、ぜひともデスクトップPCを買ってみてほしいのだ。

そんな魅力満点なデスクトップPC、いつでもどこで買えばいいの？という読者に向けてデスクトップPCの買い方や注意点を、次のページで紹介する。

## どうやって買えるの？

デスクトップPCだけでなくPC全体に言えることだが、基本的にPCは家電量販店やWEBでの購入になる。家電量販店では実際にPCを動かし、性能を確かめることが出来る。WEBで購入する場合はかなりお得になったり、ポイントが多く付く場合が多い。

具体的な店舗の例としては、家電量販店では「ビックカメラ」、WEBでの購入は前のページで紹介した「MAUSE」や「ドスパラ」などがオススメだ。

ビックカメラは個人的に一番PCに力を入れているお店だと思っている。ビジネス的なパソコンだけでなく、ゲームしても問題ないようなPCを多く取

り扱っている印象があり、PCを実際に見に行くお店としてはもってこいだ。

MAUSEは用途に合わせて注文前にカスタマイズが出来たり、ドスパラは頻繁にセールやクーポンを配布している。

## PCを買うとき

### の注意点

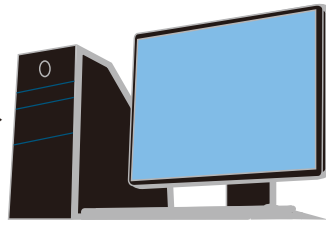
今までの説明を聞いて少しでも興味が沸いた読者へ、一応の注意点を説明しておく。

### その一

・デスクトップPCはマウスもキーボードもついていない

これは筆者がまだPCについて何も知らなかったころの話だが、デスクトップPCは四角い箱とマウスとキーボード、モニ

ター付きで販売されていると思ってた。デスクトップPCは写真でよく見るPCの箱のことだけを挿す。



この黒い箱がデスクトップPC。筆者はモニター、マウス、キーボードがセットでデスクトップPCだと勘違いしていた。

### その二

・値段が高い

当然だがデスクトップPCだけを買っても意味がない。モニターやマウスやキーボードなども買う必要がある。

デスクトップPCの価格はどれだけ安くても十万円程はする。そこに周りのパーツを足すとかなりのお値段になる。

日本ではその値段の高さ故か、ブームにはなれどもデスクトップPCが売れているというのはあまり耳にしない。一般的な家庭であればノートPC一台で済んでしまうからだ。

しかし昨今の感染症の影響で家で過ごす時間が増えた際に、政府から十万円が給付され、せつかくだから思い切つて買うという人が増えてきている。値段の壁を超えることが出来れば、デスクトップPCの文化はさらに過熱していくだろう。

# 用途別おすすめデスクトップPC

デスクトップPCは一台の値段がかなり高いため、用途に合わせた性能のもの慎重に選んだほうがいい。そこで、筆者が選ぶ3種のデスクトップPCを紹介する。

## ゲーミングPC



その名の通りゲームをする人向けのPC。データ通信の多いゲームでもサクサク楽しめるようにCPUやメモリ、グラフィックボードなどのハイスペックなパーツが搭載されていることが多い。

ゲーミングPCのもう一つの特徴として、右の図のようにきらびやかなものが多い。中には数万色の光を放つものがあったりと、とてもかっこいい。

## オフィスPC



スリム型PCとは、PCとして高い水準を保ちながら、他のデスクトップPCと比べて幅が細く、省スペース性が高い。値段も他のPCより比較的安価な傾向がある。

スリム型PCは場所をたらない代わりに、性能にピンキリがあったり、パーツを付ける隙間がったりする欠点もある。ゲームをするのには向いていない。

## MACPC



MACは「アップル」が開発・生産しているPCのこと。独自のシステムを使用しており、見た目のデザインもオリジナリティを感じるものが多い。

印刷物関連で昔から使われており、デザイン関連でPCを使いたい人はMACをお勧めする。ただし、MACは独自のシステムが多いため、データの受け渡しなんかをする場合には注意する必要がある。

# 自分だけの PCを持つ。

## 自作PCとは？

自作PCとは、その名の通り自分でPCを作ることである。…そんなことは文字を見ればわかるだろう。前のページで紹介したデスクトップPCはすべてのパーツが組み立てられた状態で販売されているが、自作PCはCPUやメモリー、グラフィックボードなどをPCケースといわれるものにはめ込んでいくのである。組み立てを自身で行うため非常に安くでデスクトップPCを持つことが出来る。

安くデスクトップPCを手に行ける自作PC。さあ、読者も自作PCを作ってみるしかない！…え、むずかしいって？そつ、自作PCのデメリットは完成させるまでの難易度が

かなり高いことだ。

## 苦難を乗り越えた先に

当然、自作するのは難しい。パーツについての知識がなければ、組み立てる際に形が合わなかったり、必要であるパーツを買い忘れたりしてしまうだろう。すべて一人でというのは難しいだろう。

筆者が組み立てた際には、パーツをはめ込みさあ電源を点けたと思いきや、モニターに画面が表示されなかつたりと、経験がないためにトラブルに見舞われたことがある。

しかし、自作PCには難しさよりも有り余るメリットと、そもそも自分で作らなくていい場合もある。メリットについては次

のページで紹介するとして、自分で作らなくてもいい場合の説明をしよう。読者の街には街の電気屋、または電化製品の修理屋はあるだろうか。そういった店では、店独自にパーツを組み込んだPCを販売していたり、スペックを指定したり、パーツを持ち込めPCを組み立ててくれたりする。また、自作PCに限らずPCが壊れた際にも相談しに行くといいだろう。このように専門的な知識がなくても、自作PCを手に入れられる可能性がある。…それって自作PCといえるのかって？それらは個別のパーツを組み立てて作られているので、当然自作PCだ。たぶん。

## 自作PCの メリット

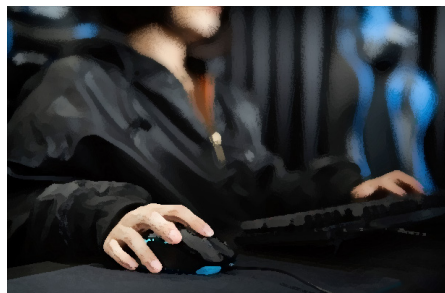
ここからは自作PCのメリットについて紹介する。

まず一つ目は、組み換えがしやすいこと。例えば、PCをもっとサクサク動かしたいとか、モニターに画像をもっときれいに映しみたいと思つた時、既製品のPCでは、パーツが固定されていてスペック向上のために組み替えることが出来ないことがある。自作PCならいつでも交換可能で、パーツの追加はもちろん、故障した際にもパーツを取り外せばいいだけなので対応も簡単だ。

二つ目は、単純にPCに詳しくなれたり、組み立てる行為がとても楽しいということだ。

PCに詳しくなれば、

自分の思うようにPCを作れたり、別のPCを買い替える際に値段とスペックが見合っているか、より良いものを買えるようになる。PCを組み立てる作業も、一定の緊張感をもって行うことが出来る。細かい作業が好きな人はとても向いているだろう。



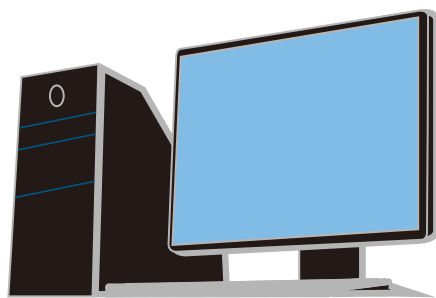
## とにかく安い

メリットの三つ目は安くデスクトップPCを手に入れられることだ。前のページで紹介したが、普通のPCが十万円ほど、ゲーミングPCは二十万円程するため、手が出しにくい印象がある。しかし、自作PCなら半分ほどの金額で、企業が販売しているものと同じくらいのスペックのものを作ることが出来る。

また、組み立てるためのパーツをWEB購入すると、期間限定で大幅になびきされていたり、ポイントが付けば、さらにお得になる。パーツだけでも購入すれば、前のページで紹介した修理屋さんや家電量販店などで組み立ててもらったりなどが出る。

## PCの魅力

いかがだっただろうか。当冊子で紹介したPCの魅力はほんの一部に過ぎない。ぜひとも冊子を読んだ後、お店に行つて実物を見てみてほしい。そしてお金に余裕があればぜひともPCを買ってみてほしい。





PCの魅力

12/29

編集・デザイン 赤津裕一